

金沢会場

平成 24 年 11 月 3 日 (土)

17 時 30 分より 19 時 00 分まで 市の蔵

参加者 14 名 (正会員 10 名、積算士 4 名)



静岡会場

平成 24 年 12 月 1 日 (土)

17 時 30 分より 19 時 00 分まで 根菜舌

参加者 7 名 (正会員 5 名、積算士 2 名)



静岡会員交流会

(株)アイピーエス 吉開 慎也

昨年の 12 月 1 日、平成 24 年度積算士更新講習会(静岡会場)終了後に、会員交流会に参加してきました。静岡での会員交流会の開催は今回が 2 回目で、前回に続いての参加です。前回の会員交流会は 9 名と少なかったのと事前の一般会員の申し込みが 2 人でしたので、今回も更新講習会の休憩時間などを使い、会員の人たちに参加を呼びかけました。

講習会会場の後片付けを終え、書類の発送の手続きを行い、会場に着いたのは参加者中最後でした。そして、今回の交流会参加者は前回より少ない 7 名。更新講習会での呼びかけの成果もなく、寂しいかぎりです。しかし、人数が少ないということは、一人一人としっかり話すことが出来るチャンスと気持ちを切り替え、交流会を盛り上げて行きたいと思いました。

今回は、7 人と少ないので一つのテーブルに全員が座ることが出来、どこの席でも全員の話が聴けました。更新講習会の休憩時間や委員会の時には話すことの無い仕事以外の、趣味や食事、健康法などいろいろな話しを聞くことができました。特に盛り上がったのは健康についての話で、交流会に参加した人たちの年齢層が高かったのもあり、やはり健康については皆さん興味がありました。自分はまだ、健康についてあまり考えていませんでしたが、皆さんの話しを聞いてこれからは、もっと考えようと思いました。

普段積算の仕事をしていて、事務所内にいる事が多く外に出る機会が少ないので社外の人とじっくり話すことがあまりありません。今回の交流会もいろいろな話を聞け、すごく新鮮でした。又、積算をしていて、つらい事、うまくいった事、事前の準備やトラブルの対処方法などいろいろな話を聞くことが出来、今までの自分の仕事の進め方の問題点・改善点なども判り、参考になる点もたくさんありました。今回の交流会で聞いた事を今後、自分の仕事に取り入れて行きたいと思います。

次回はもっと多くの会員の方に参加していただき、いろいろな話がきけたらなと思いました。



平成 24 年度年末会員交流会

広報委員会

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月19日(水)、名古屋市中区栄にある「いろはにほへと栄店」において、平成24年度年末会員交流会が開かれました。

直前の日曜日に行われた衆議院総選挙の余韻がまだ覚めやらぬ中、総勢30名の皆様に参加していただくことができました。

最初に小野支部長より「今年は佐藤さんと松岡さんが逝去され残念な年になりましたが、会員の皆様1年間の活動ほんとうにご苦労様でした。」との労いの挨拶をいただき、引き続き支部長の乾杯の音頭により交流会が始まりました。

男ばかりの中で紅一点、神野建設忠内さんが宴に華を添えてくれました。

美味しい料理に美味しいお酒も進み、赤ら顔のおじさんたちが忠内さんの奪い合い？

あちらこちらで会話がはずみ、大いに盛り上がっていました。



紅一点

毎年恒例の抽選会では、小野支部長と忠内さんが全員のくじを引き、豪華景品？が当たるたびに歓声が上がり、これまた盛り上がっていました。いつも通り外れた人は残念賞。



抽選会



中締め

宴たけなわでしたが、楽しい時間はあっという間に過ぎるものです。藤井副支部長が学生時代によくやっていたという指先を使った一風変わった中締めで、約2時間の楽しかった年末会員交流会もお開きとなりました。

今宵、会員相互の絆がいっそう深まったのではなかったでしょうか。

平成24年は、現役でばりばり働いておられた佐藤佳久さんと松岡征紀さんがご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

最後に皆様には、昨年1年間のご協力を心より感謝申し上げますとともに、本年も何卒よろしく願いいたします。

追 悼

(株) 劔谷建築積算事務所
劔谷 智彦

昨年の夏に、当協会の役員でこれからの活躍が期待されていた御二人が永眠されました。

(有)富士積算代表取締役佐藤佳久氏が7月31日に、(有)エスム積算代表取締役松岡征紀氏が9月5日に残念な知らせを聞く事になりました。

故佐藤氏は59歳の若さで、故松岡氏は39歳の共に働き盛りでの急逝は心が悼みます。

故佐藤氏との出会いは、日本建築積算協会東海北陸支部が昭和55年に設立され、59年の第3回全国大会を名古屋で開催した時からだと記憶しています。

その後、平成2年の建設大臣認定 建築積算資格者審査・証明事業の実施では、一ヶ月間毎日のよう受付業務を深夜まで頑張った事。

また、平成13年の第11回全国大会を金沢で開催した時には、下見と称して毎月ゴルフに行ったり、「越中八尾おわら風の盆」にも足を運びました。

金沢大会に出席した方は憶えていますか？開会の挨拶等を後回しにし、場内を真っ暗にした中からの「風の盆」のオープニングは佐藤氏のアイデアでした。

家族葬のため、葬儀に出られなかった役員から「送る会」をの声があがり、9月28日に東京第一ホテル錦で、「故佐藤佳久氏を送る会」を多数の方の出席で執り行いました。

出身地が大阪ということもあり、関西からも多数の方が、(一社)日本建築事務所協会の副理事長と東海地域会の代表でもあった彼のために遠方から、出席して頂きました皆様にお礼申しあげます。

佐藤さんに一言。私の葬儀委員長をしてくれる約束ではなかったですか？



故佐藤佳久氏を送る会

そして、もう一つ悲しい事が続きました。

故松岡氏とは、前週の8月31日に東海地域会の次期代表を決めるために会員が集まり、その後地域会恒例の居酒屋での宴会にも元気に参加していました。その席で「順番を守ろうね」と話していた五日後に訃報が届きました。

エスム積算前社長の長男貴敏氏を三年前に亡くし、兄の後を引き継ぎ他職種から積算の道に入り、当協会の役員も勤めながらやっと仕事にもなれてきた矢先の出来事です。

父親の重幸氏は、積算協会東海北陸支部の役員として現在も会計幹事として積算協会に貢献しており、30年余の付き合いになります。長男、次男とあまりにも短い期間に二人の御子息を亡くした重幸氏にかけられる言葉が見つかりません。

私も、年代も職種も同じ二人の息子を持つ父親であり、重幸氏の心中察するに余りあるところでもあります。

御二方の御冥福をお祈り申し上げます。

～トルコ旅行～

(有)高島建築積算事務所
高島 義昭

今回イスタンブールの友人に逢う為、娘と2人で旅に出ることになり日本の土産を手にとり7月2日関西国際空港よりPm10:30出国

7月3日 早朝Am5:30(日本時間Am11:30)イスタンブール・アタテュルク空港着。夜間便のせいか時差6時間があまり影響なくただ眠りすぎの感あり。入国審査の際、娘のパスポート(髪をロングからショートにした)審査で同一人物に見えず審査官5人がかりでチェックを受け大変な思いをして入国する。ゲートを出たところで友人サミさんと8年振りに再会。空港より車でヨーロッパ側マルマラ地区のサミさん宅へ。10階建ての8階(現地では1Fが0階なので7階)の部屋のバルコニーからマルマラ海を眺め奥さん手作りの朝食をいただく。丘で羊飼いが羊の群れを連れてカンコンと音を響かせながら時間が日本と違いゆっくりと過ぎる。Am10:30一日目の市内観光に、息子ユズクんと娘ジュエルちゃんと5人で出発。旧市街へ行く前に大学による。(友人のサミさんはF大学の准教授で今は夏休みで休校)まず最初にブルームスク(スルタンアフメット・ジャミイ)に行く。内部はイズニックのタイルで覆われ内部の装飾の美しさに息を飲む。また、お祈りの人、観光の人で一杯なんとも言えない空間。お昼はタヒ・スルタンアフメット・キョフテジス・セリムウスタという有名なカフェ専門店。激旨。次にアヤソフィア(ローマ帝国時代のビザンチン文化とオスマン朝時代のイスラム文化を合わせ持つ)は、あまりの観光客の行列に断念。



アヤソフィア

娘の希望で地下宮殿(エルバタン貯水池)の方へ。(ここでも30分程行列)6世紀に336本のビザンチン・コリント式の支柱が天井を支え宮殿への給水に使われた。そこにメーヌサの首が2つ柱を支えている。すべてが謎のまま。次はトプカプ宮殿と思ひ足

を運ぶがあいにくの休日。(殆どが月曜日が休みなのだが、ここは火曜日が休館残念!)帰り道トプカプ宮殿の城壁沿い200mの1本の坂道ソウケシム通りの歴史ある木造建築物を見学しながら、マルマラ海沿いのオープンカフェによって帰宅。イスタンブールの夜はPm9:00すぎやっとならぬ夕飯も始まる。子供達は8:00すぎまで外の公園で遊び本当に私にとって時間間隔がなくなる。友人宅でPm9:00ごろトルコ料理を楽しみ11:00すぎにアイスクリームを食べに行こうと家族全員でトプカプ(トルコで1番有名なアイスクリームチェーン店)店へ。ドントウルマ(トルコアイス)をフォークとナイフでいただく。この食べ方がトルコでは正式だとかとかにかく量が多い。娘はピスタチオ味が一押しAm2:00過ぎイスタンブールの長い1日が終わる。おやすみなさい。

7月4日 今日はいよいよお買い物デー。Am10:30友人宅よりタクシーで地区バスターミナルへ路線バス(3両連結で3~5分間隔で運転)に乗って新市街地へ出発。(市内は大変交通量が多いので慢性的な交通渋滞を緩和するため道路中央に専用バスレーンがある両側にはガードがあり一般車は入れない。日本では無い都市交通システム)トプカプよりトラム(路面電車)に乗ってアクライ下車そこからタクシーにてヴェルニス水道橋跡を通りガラタ橋の近くのカラキョイで下車そして世界一短く世界二に古いチュネルという地下鉄に乗る。チュネルから路面電車のノスタルジックトラムに乗り換え。イステイクル通り(イスタンブールの有名な繁華街)を進みタキム広場へ。いろんな市内交通で街見物しながら、そこからは車でまたガラタ橋を渡り旧市街に。エミノニュ橋(アジア側の船乗場)など金角湾を眺めサレンクル急行の舞台シケジ駅へ。(この駅よりヨーロッパ各地に)友人がお祈りの為イェニジャミーに寄る。



イェニジャミー

その目の前はもうエジプトシナガゴールの。香辛料の香りが漂っています。娘の目的地がすぐそば・・・バザールで有名なトルコヒーなどを買い昼食はジジバブ。手芸用品屋が並ぶエミノニュ地区を通り(35℃の炎天下坂道の為体にきつい)グラントバザールへ。朝っぱ

石鹸と木のソックスを買い（目的の物は2点ですがバザール内くまなく歩く・・・疲れた。）バザール内のカフェで一休みしてバザール駅からトラムに乗り帰宅に着く夜は娘が日本食を作る為、台所を借り腕をふるう。（イスラムの為アルコール類、豚はダメ）下階の奥さんの友達や奥さんの親戚などお客さんがたくさん集まり賑やかな夕食。今日はイスラム教のラマダンが15日前の特別な日で友人、親戚が集まり食事やチャイなどで楽しむ日に重なって特に賑やかに。・・・何時に就寝したかわからない？

7月5日 Am11:00 友人家族と一緒にアンタルヤ地方・地中海へ向け車で出発。ヨーロッパ側よりアジア側に渡るには、第1橋、第2橋と2ルートあるが第1橋がリフレッシュ工事の為通行止渡るのに5時間と大渋滞の為、イェニカヒよりヤロハまでマルマラ海横断フェリー（1h）で渡る。プルト経由イェニカヒにて、遅めの昼食（この地域はコッパで有名）のキッパをいただく。美味しい。またこの地域は栗の名産地で、グラッセとペーストを買う。イスクンビヤ→クツヤ（焼物で有名：丸谷焼？）経由でPm9:00 温泉地アフィヨンのコルホテルに到着、宿泊トルコ国内では有名な温泉地で日本で言えば山中温泉みたいな所。ただイスラム系の為外国系ホテルと違いアルコールが売っていない。とてもとても残念！（禁酒3日目）夕食をとり温泉プールに入り体を休める。おやすみなさい。

7月6日 早朝ホテルの庭園を散歩。トルコは薔薇やチューリップで有名だが時期的に遅く薔薇がすこし残っていたがそれでもとても綺麗に咲き誇って気持ちのいい朝を迎えた。Am10:30 アンタルヤに向け出発。延々と続く高原道路を過ぎ地中海が眼下に。Pm7:30 目的地シャインパラダイスホテルになんとか着く。まだ日が高く34℃と暑い！地中海のプラインパルトビーチ付滞在型リゾートです。ホテル内は飲み食い全て無料。ホテル内レストランで食事（ハイキング形式）をとりプールサイド脇カフェでトルココーヒー、チャイを飲みながらOKというトルコ麻雀等思い思いに時を過ごす。・・・何時の間にかAm1:00 もう寝よう！*残念なことにこのホテルもアルコール類なし！（禁酒4日目）

7月7日 Am 友人家族と地中海で泳ぐ。（地中海は、塩分濃度が高く、しかも深い。）海の色はマリンブルー、空の色は抜けるようなスカイブルーとにかく気持ちが良い。午後からはプールへ。完全男女別。（イスラムでは成人の女性は肌を露出してはいけない。）Pm10:30 よりトルコの民族伝統楽器による生コンサート チャイを飲みながらゆっくり時を過ごす。子供達はキッズエリアで思い思い遊んで大人から子供までパカスを愉しむ。夜が更けても。・・・何時に寝た

のか自分でもわからなくなってきた。

7月8日 一日プールサイドで日本から持ってきた小説を片手に日光浴したり泳いだり。・・・とうとう我慢できなくなってホテルから抜け出し町に出てビールを買いに出る。（イスラムのみなさん御免なさい）今夜のイベントは昨日と同じ生コンサートと劇場にてモンゴル（中国人みたい？）の雑技団のショータイム毎日飽きないよう工夫されたイベントが続く。

7月9日 Am クムカの町へ。土産・雑貨屋で娘がアクセサリーや土産品を買う。（日本人を始めて見るのかジロジロ反対に見られる）Pm プールサイドで昨日と同じ夜は劇場で素人参加のコメディ白雪姫。7人の素人小人、2人の芸人小人+芸人白雪姫 すべて男性による新説9人の小人と白雪姫ばかばかしさいっぱい。言葉がわからなくても大変おもしろかった。その後Pm11:00よりディスコ（女性デイなので男性は部屋にもどる）娘に聞くとバリーダンスよりハイの方が多とか。・・・意味不明！

7月10日 午前、ケルから15kmのタタル山（カリンボス）の麓にある遺跡見学へ。*カリンボスの古代都市は、タタル山の南側にあり夾竹桃、月桂樹の茂みに覆われたカリンボスの谷に寺院の門、劇場、水道橋、浴場、城砦の遺跡が点在し、またカリンボスの北ヤナルシ山（高度300m）には、神話によるリュキアの英雄ヘルロフォンが翼のある天馬ペガサスに乗って、火を吐く怪獣キメラを退治した言い伝えがのこる。今もこの場所で地中から漏れるガスが夜明るく燃える。ビザンチン帝国時代もこの地が聖地であった。とにかく山である。遺跡を越えたらマリンブルーのビーチがあり観光客だらけ。（外国人達が海水浴。・・・違う意味で壮観！）Pm4:00から娘と友人の奥さんがホテル内ハمام（トルコのマッサージ付お風呂）へ娘が楽しみにしていた初ハمام。娘いわく超最高！

7月11日 Am11:00 ホテルをチェックアウトして次の目的地エーゲ海沿いのキュージェイスへ。約300kmの旅途中観光地フェティエに寄る。



フェティエ

多くの外国観光客が街に溢れ大変な賑わい。Pm6:00 キュージェイスに着くキュージェイスは湖のほとりののどかな町（人口3万人）。キュージェイス湖は淡水で自然の水路でエーゲ海とつながっていて、この珍しい環境がトルコの自然と野生動物の保護地域に指定されている。

特に海がめの産卵が有名。湖の辺でムール貝のピラフ詰め屋台に遭遇、娘感動がピー！。しかし暑い、暑すぎる。現在の気温43℃。娘が初めて父の別荘の実在を確認、しかし入れず。キューゼイス山麓の友人サミさんのお母さんの住まいに向かう。下界より15℃下がり涼しい。可愛いお家、たくさん果樹（ブドウ、プラム、桃、洋ナシ、リンゴ、ウメ、…その他日本に無い果樹。）娘がすかさずプラムの木に飛びつき食す。すごく美味しい。ここでは水も直接飲んで、そしてなによりも空気がとても新鮮（近くに水の工場もある）夜はバーベキュー、量がすごくトルコイブ。近所のおばさん2人も参加して、夜が更けるのも忘れてワイワイがやや。

7月12日 Amキューゼイスでサミさんのお兄さん（私の家を管理してもらっている）と、久しぶりに娘は初めて会う。娘がついに私の別荘へ足を踏み入れる。…コメント無し！皆さんと一緒にキューゼイス湖の水路脇にあるダランの町へ。水路奥の山肌に紀元前のカリス遺跡を眺めることのできる水路沿いのロカンタ（レストラン）で昼食。ダランの街の土産物店で娘がまたもや買い物三昧・・・付き合いきれない娘に友人家族が一生懸命に付き合ってくれる。なんだか申し訳ない気持ちに。キューゼイスに戻って湖畔のオープンカフェでゆっくりとチャイを飲みながら過ごす。子供達や娘は近くのお店で伸びるトルコイブを食べる。アイスがなかなかかわたしてくれない。（約10分程の格闘の末なんとか）夜ご飯は軽くピザで済ませない。（満腹中枢が完全に麻痺！）

7月13日 Am9:00キューゼイス出発イスタンブールに向けエーゲ海沿いにムラ、クシャダスへ途中エフェソ（エフェソ）都市遺跡の見学に寄る。



エフェソ図書館

紀元前11世紀イニア人により作られた都市国家その後、メディア王国、パルティア王国、アレクサンダー大王の支配を経て紀元前3世紀にリマコス帝の支配下に特に紀元前3～4世紀の建物や泉の遺跡が多く残る。ハーバートリート、セルシウス図書館、スコラスティキア浴場、クレテス通り、トラヤヌスの泉、ペリスタイルハウス、等々・・・そして

2万4千人収容の大劇場、ここで猛獣と剣士の戦いが行われた。映画シーンに出てくる様な臨場感たっぷり！またこの劇場は古代の7不思議に上げられている。1日ゆっくりと見学しても飽きない遺跡（保存状態が大変良い）である。見学後土産物屋に立ち寄る。日本語で“見るだけ”と声を掛けられる。10年前は“なんでも千円”と声を掛けられたが、トルコ人も進化していると感心！やはりここは日本人観光客が多いのだ。もうPm4:30先を急がなくてはボントウマよりフェリーが9:30に出る急ごう！イスマイルなどをとにかく走りぬけ（約500Km）マルマラ海横断のフェリー乗り場のボントウマへ2hフェリーにのりようやくイスタンブール・イェニカディ港に着く。約2400kmのトルコ横断の旅でした。

7月14日 遅い朝食をいただいた後、娘は友人の奥さんにチャイとトルココーヒーの入れ方を習う。特にトルココーヒーの入れ方については4日に会った奥さんの友人に伝統的な入れ方を教えて戴く。それを飲みながらイスタンブールの伝統楽器であるウードを演奏していただき感動。その後スーパー（日本のイオンモールみたいな所）へ買い物・見学。広いしなんでも売っている。女性人達は買い物。日本に無い食料品をいっぱい買って、専門店街ではトルココーヒーカップ、洋服等を買う。男性人はその間ひたすら待つ。（チャイを飲み、コーヒーを飲み、ソーダを飲み・・・腹膨れる）スーパーの帰り道にカバの有名店で食事をする。巨大ギョズレメを食べる。どんな長さのカバでもOKだそうだ。（隣席の家族ずれが2m近いギョズレメを食事していた）夜ご飯は奥さん手作りのマンタ（日本の水餃子）とおすそ分けのドルマ。もうお腹が爆発しそう、でもおいしい！Pm11:00友人に空港まで送ってもらいお別れ・・・2週間の楽しい思い出をありがとう！



イスタンブール市外

搭乗手続き後最後の出国手続き。娘が心配だったがスムーズに通過。気を良くした娘はまたもや免税店で買い物三昧・・・1時間遅れで夜中の1:30日本に向けようやく帰国の途へ。

平成25年1月

会員各位

(公社) 日本建築積算協会東海北陸支部

会員委員長 佐野 洋治

ナゴヤドームへ野球観戦によう

“新年明けましておめでとうございます” 新しい年の始まりとともに全てが活発に動き出す今日この頃です。

さて、本年もナゴヤドーム・ライト側外野指定席を会員の皆様にご提供いたします。

ご希望の試合日を下記要領にしたがい記入して支部事務局まで、FAX 又は E-mail でお申込みください。ただし、会員（平成25年4月1日現在）に限ります。

会員一人一試合のみ(2席分)とし、複数申し込みをされた場合は無効とします。

なお、平成25年度公式戦応募日程は3月上旬に東海北陸支部ホームページの会員サービスに掲載します。(http://bsi-th.052e.com/)

—記—

1. 受付開始 3月上旬
2. 締切日 ホームページに掲載します。
3. 日程 ホームページに掲載します。
◇ ご応募者が多数の場合は抽選とし、発表はチケットの発送をもって発表にかえさせていただきます。
4. 申込先 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3番26号
昭和ビル2階
(公社)日本建築積算協会 東海北陸支部事務局 宛
電話(052)264-0661 FAX(052)264-0662
メールアドレス: toukaihokuriku@bsij.or.jp

インターンシップを通して

富山県立富山工業高等学校

実習助手 高見 千佳子

富山県立富山工業高等学校は、県立大沢野工業高等学校と統合、県立富山西高等学校より土木科を移設し、新しい富山県立富山工業高等学校として平成22年に新たにスタートを切りました。現在は、機械工学科2学級・電子機械工学科1学級・金属工学科1学級・電気工学科2学級・建築工学科1学級・土木工学科1学級の6学科8学級となり、併設する定時制を合わせると生徒数は約1000名で、県内では最多の生徒数を誇る県立学校となっています。

本校では、各科の学習内容に関連する企業や、就職先となっている企業にご協力をいただき、毎年2学年の生徒を対象とした短期インターンシップを実施しています。建築工学科では、積算事務所や設計事務所、ゼネコンなどの企業にご協力をいただいています。3日間という短い期間ですが、学校では学べない社会のルールや、それぞれの仕事に必要な知識、会社の雰囲気などを僅かながらにも感じ取って来てくれているように思います。

例えば、毎年お世話になっている明峰積算事務所さんでは、挨拶や服装などの社会マナーから、実際の図面を使用しての積算業務までを丁寧にご指導いただいています。建築現場の知識が少なく、計算を苦手とする生徒たちにとっては難しい作業のようですが、学校での学習と違い、真摯に向き合っているようです。また、会社の雰囲気や業務の様子を拝見させて頂くだけでも、生徒には刺激になっているようです。自分達の今学んでいることが社会の実務に繋がっていることを実感できたり、自分の今の知識では社会で通用しないことを悔しがったりしている姿を見ることができ、学校での今後の学習や将来を見据えた就職活動のため、前向きに行動していってくれるのではないかと期待してしまいます。

インターンシップを通して学ぶことは、学校では体験できないものであり、だからこそ生徒にとって刺激になるのだと思います。また、教職員も、生徒を社会へ送り出す立場として、学校でより実務的な実習や実社会に即した学習指導が出来るように、実務や現場を知る努力をしていかなければならないと考えます。

インターンシップを終えて

富山県立富山工業高等学校

建築工学科 5番 岩崎 真奈

私はインターンシップが行われる前まで、積算は建物に使われる建具の個数と値段だけを調べて企業の方に出すものだと思っていました。しかし、本当の仕事内容はこれだけの事ではありませんでした。場所によって建具の大きさや形が違っていたりするものを、とても細かく正確に調べなければならず、多くの作業が必要でした。

そして私はこの三日間のインターンシップのお陰で社会に出てからの大切な事を沢山教えていただきました。その中で一番大切だと思うことは、ミスをしない事です。積算の場合、数値の桁や少数点のコンマを見間違えると、大きな損害をうけ、それ以上に相手の企業の信頼を失ってしまうこととなります。信頼してもらうまではとても時間がかかるけど、失うのは一瞬だと思うので、今から社会に出るまで自分は小さなミスから減らしていこうと思いました。他にも協力することや接客の仕方など沢山学ぶことが出来ました。短い間でしたが、ありがとうございました。

建築科 18番 佐渡 栞

今回、明峰積算事務所さんに行って、一番学んだのは、仕事の取り組み方についてです。事務所で働いている方々は、わからないところがあれば、必ず誰かに聞いていました。当たり前のこと

だと思うけど、そういうことを気を付けないと仕事での間違いが多くなるのだな、と思いました。これは仕事だけのことではなく、学校の授業でも言えることだと思うので、今回学んだようにわからないところは、しっかり聞くようにしたいです。

実際の仕事の方では、CADを詳しく教えてもらったり、図面の計算の仕方を教えてもらったり出来たのでためになったと思います。計算は、初めてのことで一回の説明ではなかなか理解できず、最後までやりきれなかったことが残念です。CADは実習より詳しいことが出来たので来年の製図に活かしたいです。

三日間という短い間でしたが、社会おけるマナーや常識、実際の仕事など色々なことを教えていただきありがとうございました。

建築工学科 36番 茂木 翔汰

僕は明峰積算事務所で、土工事の床付計算や内部仕上の積算などの計算方法や、JWCADの使い方を教えていただきました。三日間を通して、沢山の計算方法を学びました。その中でも土工事の床付計算は難しく分からないことばかりでしたが、藤井さんがわかりやすく説明してくださり、なんとなくですが理解することができました。

JWCADは学校の実習で習いましたが、会社で行っていることは複雑で大変なものばかりでした。会社ではこのような大変なことを毎日しておられてすごいと思いました。

僕はこの三日間の仕事を通し学んだことは沢山ありますが、一番心に残ったのは字をきれいに書くということでした。僕はあまり字がきれいではありませんが、少しでもきれいに丁寧に書くように努力しました。字を丁寧に書くということは、自分の会社にも相手の会社にも間違いがないので、このような心配りをするのは大切なことだと思います。

原稿募集のお願い

広報委員会

拝啓 会員の皆様ますますのご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は支部報「東海北陸」を御愛読いただきまして厚くお礼申し上げます。

当支部では、支部報の発行を年2回行っておりますが毎回役員及び委員からの記事で、新たなコーナーを設けたいと思っています。つきましては、会員の皆様の原稿を募集して当協会の支部報ならびにHPに掲載したいと思っております。

尚、出稿していただいた内容は広報委員会により、掲載有無は判断させていただきますので誠に恐縮ではございますが、何とぞ事情を御賢察くださいましてよろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

記

- 1 発行部数 500部
- 2 配布先
 - a 静岡・愛知・岐阜・三重・福井
石川・富山に在住する会員
 - b 北海道・東北・関東・近畿・中国・四国・九州にある当協会各支部
 - c 東海・北陸管内の官公庁（整備局・県庁・市役所等）
 - d 東海・北陸管内の建築関係諸団体（建設協会・建築士会・建築士事務所協会）
- 3 掲載号数 年2回（出稿時期による）
- 4 掲載形式 A4版（半ページ又は1ページ）
- 5 掲載内容 御希望どおり
（読者からのコーナー）
- 6 広告版下締切り 随時募集

以上

原稿は〒460-0008

名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル 2階
公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部 事務局
TEL 052-264-0661 fax 052-264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp



2013 謹賀新年

積算事務所からの御挨拶



公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部長 小野 徹郎

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukai@hokuriku@bsj.or.jp
URL <http://bsj-th.052e.com/>

IPS

代表取締役

内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000の3 TEL 053-461-8866 FAX 053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-5-14 TEL 03-5694-0636 FAX 03-5694-2415
IPS E-mail : ips@iph.co.jp
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長



株式会社 浦野設計

URWD ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣高

技術士(建設部門)

名古屋本社 〒462-0815 名古屋市中区八幡町20番地
TEL 052-503-1211 FAX 052-505-2712
URL <http://www.urano-s.co.jp/>
E-mail h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL 03-3811-9128 FAX 03-3811-9582

毎年紙使用

取締役 営業本部長
広島・名古屋事務所 所長

井田 浩司

IDA HIROSHI

積算士

建築コスト管理士

一級建築施工管理技士



Enishi C.M Office

広島事務所
〒750-0245 広島市中区錦町4番22号 広島・鶴見町(MXO)
TEL 082-542-6240 FAX 082-542-6750

名古屋事務所

〒460-0001 名古屋市中区錦2丁目1番22号 名古屋センタービル

TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063

携帯 090-7895-2280

E-mail ida@enishi-cm.co.jp

<http://www.enishi-cm.co.jp/>

本社 福岡 東京 福岡 兵庫 大阪 東京

株式会社 縁



株式会社 えん 建築積算

代表取締役 廣 瀬 稔

MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算資格者・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市中区市場木町32
ITO BLD 2階
TEL 052(503)0366
FAX 052(503)0663
URL <http://www.ennsekisan.go.com>



国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

建築積算事務所

有限会社 勿木多積算室

代表取締役 窪田 和則

(建築積算資格者)

〒920-8218 石川県金沢市直江北1-181
TEL&FAX 076-239-3471
e-mail kzk@spacelan.ne.jp
<http://www.spacelan.ne.jp/~kzk/>
mobile:090-8090-6146

鉄骨積算事務所

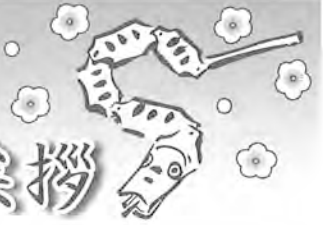
斉藤 賢治

斉藤 賢治 TEL:0566-85-3217



2013 謹賀新年

積算事務所からの御挨拶



白木建築積算

石田 豊文

Toyofumi Ishida

〒501-3152 岐阜市岩滝西3-72
TEL: 058-213-5879
FAX: 058-213-5878
E-mail: sks-toyo@coda.ocn.ne.jp

有限会社 高島建築積算事務所

所長 高島義昭

一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340
携帯電話 090-3293-6920
E-mail: takasima@aquaa.ocn.ne.jp

株式会社 研谷建築積算事務所

代表取締役 ときや 研谷 智彦
会 長 研谷 将紀
代表取締役 研谷 将紀
社 長

名古屋本社 〒466 0841 名古屋市昭和区広橋本町6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844



株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 位田 勝彦

KATSUHIKO INDEN

建築コスト管理士 社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目29-10 錦通ビル5F
支社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960
E-mail: k-inden@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7 TEL 03(3392)6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 林積算

代表取締役 林 進

〒460 0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783
E-mail: susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 二葉積算

名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail: nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL: http://www.futaba-sekisan.co.jp
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



株式会社 みどり建築企画

(社)日本建築積算協会東海北陸支部
副支部長・講習教育委員長・HP委員

代表取締役 藤井 正王
FUJII MASAO

名古屋市中区栄一丁目7番25号 サン・ミノビル602
TEL 052-231-5822 FAX 052-231-5825
〒460-0008 E-mail: midorikk@mediacat.ne.jp



株式会社 棟 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫
取締役 和田 浩嗣
取締役 中島 達司
取締役 服部 欽守

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階
TEL: 052-602-9525 052-602-9526
E-mail: aamunecp@mvg.biglobe.ne.jp 00
URL: http://www.mune-kenchiku.co.jp
東京出張所 TEL: 03-5833-7481



2013 謹賀新年

積算事務所からの御挨拶



明峰積算事務所

代表 宮 西 繁

建築積算士 篠 田 奈 々
(管理建築士)

〒930-0861 富山県富山市有沢新町39
 (富中事務所) TEL 076-425-7330
 FAX 076-425-7363
 (休日連絡先) TEL/FAX 076-491-9158
 E-mail : s.miyanisi.toyama@nifty.com



株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役会長 森口 雅文

代表取締役社長 小田 義彦

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
 TEL 052-222-8611 FAX 052-222-1971
 東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
 TEL 03-5294-6211 FAX 03-5294-6219
<http://www.ito-aei.co.jp>

建築積算システム

FKS

見積書作成システム

KYOEI
COMPASS

リニューアル用積算ソフト



長期修繕計画表作成ソフト



協栄産業株式会社 ソリューション営業部

〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
 【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318
 【E-mail】 fks@kyoei.co.jp 【URL】 <http://www.kyoei.co.jp/fks>



代表取締役

末 永 治 生

株式会社 末永製作所

〒501-0606 岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3
 TEL.0585(22)0778(代)
 TEL.0585(22)5451(直)
 FAX.0585(22)2108



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役

今 岡 朝 和

本 社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
 TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
 E-mail : imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>
 東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
 TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081



株式会社大成出版社

●グループ会社
 株式会社たいせい

謹賀新年

代表取締役社長

松 林 久 行



●平成23年基準 公共建築工事積算基準の解説●

(建築工事編) (設備工事編)

各定価9,700円(本体9,238円)

平成23年基準
公共建築工事
積算基準の解説



監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

公共建築工事共通費積算基準の改訂について解説し、それに伴う共通仮設費・現場管理費の算定方法の見直しを計算例付で解説!
市場単価の適用工種の追加、建設機械等損料表の改訂に伴う歩掛り等の改正についても解説した最新版!

平成23年基準
公共建築工事
積算基準の解説



●平成23年版 公共建築工事積算基準●

定価8,700円(本体8,286円)

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

共通費積算基準・標準単価積算基準の改正
参考歩掛りの改正並びに最新通達を収録

今回は、「公共建築工事共通費積算基準」において、建築工事、電気設備工事及び機械設備工事における共通仮設費及び現場管理費の算定方法の見直しが約10年ぶりにされ、共通仮設費及び現場管理費の算定式の変数として従来の工事規模(直接工事費、純工事費)の他に「工期」を追加し、工期に応じた共通仮設費率及び現場管理費率の算定ができるよう改定されています。

「公共建築工事標準単価積算基準」では市場単価への移行の適用工種に「防水入隅処理」が追加されています。また、建設機械等損料算定表の改定に伴い、「建築工事」における「舗装機械運転」の歩掛り、「機械設備工事」における「土工機械運転」の歩掛り等の改定がなされています。

●平成23年版 建築数量積算基準・同解説●

定価4,200円(本体4,000円)

制定/建築工事建築数量積算研究会
編集/(財)建築コスト管理システム研究所/
(社)日本建築積算協会
発行/(財)建築コスト管理システム研究所

建築数量積算基準・同解説



本書は、建築工事の積算業務に携わる方々に活用され、建築工事の公式な契約の基盤となる必携の書です。

今回の改訂は、改定された「JASS5」と整合性を図り、「鉄筋の定着、重ね継手の長さ及び鉄筋径の倍数表」や「鉄筋の投影定着長さ」などを見直し、日常、積算関係者から寄せられたご意見等を参考に解説部分の表現の統一、図表等の修正などを加えた最新版です。



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

プリンターやコピーで
高いコストをかけていませんか？
そんなプリントアウトおまかせ下さい。

パソコンデータをお送り下さい。
大量にプリンターやコピーするなら印刷の方がキレイでお得です。

●目安はカラーで350枚以上あれば印刷の方がお得です。

詳しくは、お気軽にお尋ね下さい。

●入稿方法「持込の場合」

作成データ(メディア)+プリントアウトをお持ち下さい。

●CD-ROM・コンパクトフラッシュスマートメディア・SDカード・PCカード・USB携帯メモリーなどが入稿可能です。

●入稿方法「ネット入稿の場合」

作成データ+画像データ(JPEG)をお送り下さい。

●画像変換できないソフトの場合はスナップ画像を作成します。

パソコン画面にページ全体を入れ[PrtSc]を押し、プログラム→アクセサリ→イベントを起動します。

次に編集→貼り付けをする→コピー画面が貼り付けられます。後はファイル→保存(JPEG)で完了です。

●メール入稿は yamada@ymdp.jp までお送り下さい。

※メールサーバー制限により3MB以上のデータは送信できない場合があります。

●大きなファイルは、ファイル転送サイト無料 等をご利用下さい。

「宅いある便」 URL <http://www.filesend.to/>

「WebFile」 URL <http://www.webfile.jp/>

●出力可能ソフト

- ・Microsoft-Word (ワード)
- ・Microsoft-Excel (エクセル)
- ・Microsoft-PowerPoint (パワーポイント)
- ・Adobe Illustrator (イラストレーター)
- ・Adobe Photoshop (フォトショップ)
- ・Adobe Acrobat (アcroバット)

●その他のソフトウェア、バージョン等について、詳しくはご連絡下さい。

●オプションにて各加工もいたします。

紙折り・穴あけ・ミシン・丁合・ホッチキスどめ・中綴製本・無線製本・ラミネート加工(バッチ・UVラミネート)等
その他の加工もご相談下さい。

★注意事項

- Office 系データのカラーモードはRGB形式であり、オフセット印刷のカラーモードのCMYK形式に変換すると色合いが変わることがあります。
- データに画像等入っている場合、解像度が低い場合は画像が荒れた状態になります。(RGBの画像が貼り付けてある場合は、CMYKに変換して印刷されますのでRGBよりもCMYKの方が色域が狭いため色が白化する場合があります。CMYKの画像が扱えるソフトでは、CMYKデータでご入稿下さい。)
- 弊社に無いフォントを使用されている場合は、使用されているフォントファイルも持参下さるか、同じ様なフォントに変えさせて頂きます。(文字のアウトラインの取れるソフトで作成してある場合は、文字をアウトライン化(イラストレーター等)して入稿下さい。)
- 入稿頂いたデータを一に加工を行う場合は、編集料を別途頂きます。

あらゆる印刷物のデザインから印刷・製本コンピュータ関連サービスまで

PRINTING & COMPUTER SERVICE



山田印刷所

詳細は
ホームページを
ご覧下さい

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417
URL <http://www.ymdp.jp/> 瑞浪市山田町510番地

自費出版のお手伝い

俳句集や詩集、自叙伝、社史、小説や写真集、予算に合わせたご提案をさせていただきます。

写真撮影承ります

デジカメにてカタログ商品撮影、建物撮影、メニュー撮影、スナップ撮影など承ります。

動画ムービー編集

PR用のDVDやwebムービー、プレゼン資料から結婚式ムービー、サブライズムービー作成など

簡単更新ホームページ

ブログでは、いろいろな制約がありすぎて使いにくい。かといって本格的にHTMLやFlashで作成されたものは、なかなか自分では更新できない。でも簡単に更新ができて雰囲気のあるものを自由に作成したい…。簡単更新ホームページは、トップページはHTMLで自由に作成でき、サブメニューや内容はブログ感覚でブラウザから入力することで更新が可能です。詳しくはお問い合わせください。

- 営業品目 書籍印刷物・記念誌・会社案内・カタログパンフレット・チラシ・ポスター・メニュー・新聞・伝票類・フォーム印刷・メモ帳・手帳・名刺・封筒・はがき・DM・カード・券・プログラム・賞状・案内状・シール・ラベル・しおり・包装紙・ビニール袋・カレンダー・のし紙・文集製本・CDジャケット・手さげ袋・パッケージ・タミー缶・マグネット・各種紙加工(折り、穴、ミシン、断裁、製本)・DTPデータ制作・PDFファイル作成・ホームページ制作・ビデオ編集・CD、DVD作成・オンデマンドプリント・大判プリントアウト・ラミネート加工…他

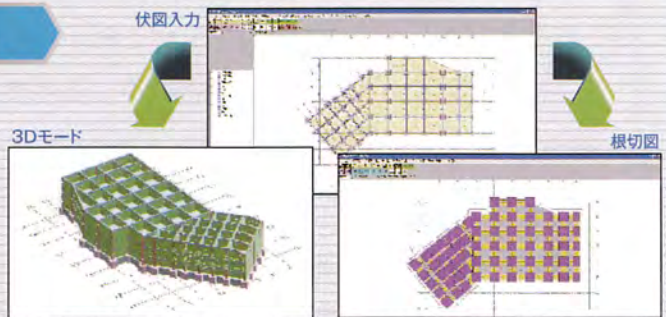
進化し続ける

建築積算・見積システム

FKS RC RC数量積算システム

拾い時間の短縮・省力化を追求しCADとのデータ連携も実現

- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正の機能を搭載
- セットバック(斜め柱)や壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- PC工法、ポイド、機械式継手、定着プレート、カットオフ、スリットなど様々な工法に対応
- 土工事は、総掘、壱掘、地下空間体積も自動で積算、杭工事にも対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込(オプション)

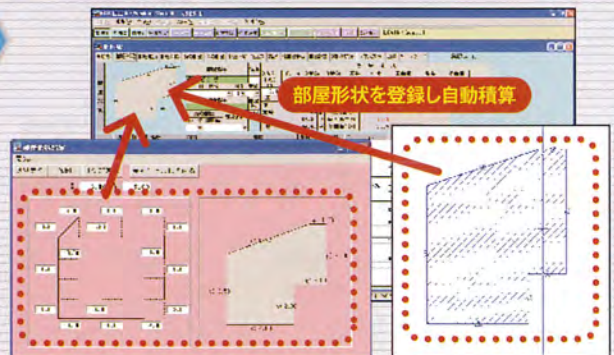


作図した伏図を3次元へ展開し、立体図を見ながら各部材の編集が可能です。基礎伏図から根切図を自動作成し、土工事数量も算出します。

FKS FN 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図と図面ショット機能により複雑な形状の部屋でも自動積算を実現
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- BIMツール 連携用 中間ファイルの入力機能搭載 (公益社団法人 日本建築積算協会 制定 BS-Transfer)
- CI-NET 建築積算メッセージファイルの入出力機能搭載 (一般財団法人 建設業振興基金 制定) 建築積算の標準交換データ形式に対応

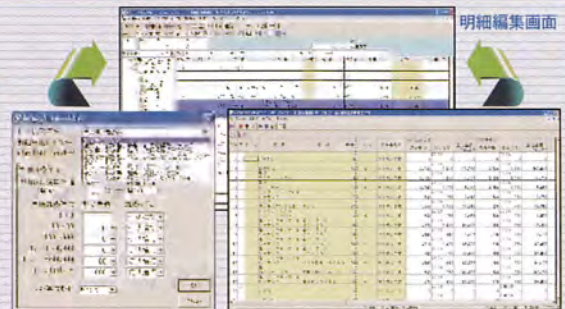


部屋形状作図画面 9等分されたマスの組み合わせに形状や寸法を入力するだけで部屋形状が自動作成されます。図面ショット画面(図面データより) マウスでクリックするだけで部屋形状が自由に作図できます。

KYOEI COMPASS 見積書作成システム

優れた操作性と豊富な機能で見積業務が大幅に効率アップ

- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- 名称・規格情報が同じ明細を文字検索し、単価の統一が可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積書の書式位置はユーザーごとに設定が可能



単価自動セット 単価マスターや過去物件より 単価を自動セットします。業者見積比較画面 最大5社まで見積比較が可能です。

協栄産業は、蓄積された経験と技術をもとに、貴社に最適な建築コストアプリケーションを提供いたします。

鉄骨数量積算システム **FKS ST**

積算実績比較システム **FKS SJ**

実行予算書作成システム **COMPASS 実行予算**

デジタル化入力システム **K/FIT**

積算といえば **協栄産業** におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS 検索

「積算 FKS」で検索してください

クリック!



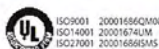
エレクトロニクス分野を通して 夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
 TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング
 TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810



協栄産業株式会社 会社概要

- 【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo co.,Ltd.)
- 【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4
- 【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日
- 【資本金】 31億6,181万円(2012年3月31日現在)
- 【総従業員数】 1,234名(協栄産業グループ合計)
- 【株式上市】 東京証券取引所 市場第1部「商業」
- 【関連団体】 公益社団法人 日本建築積算協会賛助会員
 一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員
 社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員
 一般財団法人 建設業振興基金 (CI-NET会員)
 一般社団法人 IAI日本会員